

学習指導案

指導日時	令和3年10月22日	科目名	建築施工	単位数	2単位
学年・学科	3学年・建築科	教科担任	古賀 満		
使用教材	教科書	実教出版 建築施工			
	補助教材	自作ワークシート			
単元名	第3章 4節 地業工事				
本時の目標 (ねらい)	地業工事の種類(砂利・砂地業、割石地業、地肌地業)や特徴、捨てコンクリート地業の目的を理解する。				
段階	指導内容	生徒の学習活動	指導上の留意点		
導入 (5分)	地業工事の流れの説明	・本時の学習の内容を確認する。	・本時の目標、評価方法について説明する		
展開 (40分)	1 地業工事の説明 1. 砂利・砂地業 2. 割石地業 3. 地肌地業 4. 捨てコンクリート地業	・地業工事の種類や目的手法を理解する。 ・地業は地盤の状況によって異なり、砂利・砂地業、割石地業、地肌地業があることを考える。 ・各地業で使用する材料・締め固め方法を理解する。 ・地肌地業はどのような地盤であるか理解する。 ・捨てコンクリート地業の目的を理解する。 (25分)	・必要な事はメモをとるよう指示をする。 ・用語の意味は説明する。 ・割石地業の割石の敷き込み方、割石について説明をする。 ・地肌地業は、どのような地盤であるか、第三紀層→洪積層→沖積層の順で新しいことを説明する。 ・捨てコンクリート地業の目的を説明する。		
	2 ワークシート (地業工事)	・ワークシート 自分で考える。(5分) その後グループになり話し合い問題を解決・共有する。(5分)	・課題取り組み時には巡回して質問を受け付ける。 ・ペンの色分けを指定(解答時) ・グループ学習		
	3 レポート作成	・レポート作成(5分) 本時の振り返りを行い地業工事の種類・特徴や捨てコンクリート地業の目的をレポートにまとめ、次回の授業で提出。	・誰が見てもわかりやすくまとめるように指示する。		
まとめ (5分)	・本時の振り返り ・自己評価 ・次回の予告 ・ワークシート回収	・本時の振り返りを行い、各地業について再度確認をする。 ・次回の内容を確認する。	・本時の振り返り。 ・本時の内容と次回の内容のつながりを説明する。		

○本時のルーブリック(上位は下位を含む)

評価観点	A+ (高水準)	A (満足できる)	B (概ね満足できる)	B- (努力を要する)	C (相当な努力が必要)
度) (主体的に学習に取り組む態度)	(Aの水準に加えて) 独自に調べたことなどを交えて考察を加えるなど工夫が見られる内容である。	(Bの水準に加えて) 丁寧かつ誰が見ても本時の内容が理解できるよう、まとめることができる。	地業工事の種類や特徴、目的を理解し、丁寧にまとめることができる。	地業工事の内容をまとめることができ、期日までに提出することができる。	B-に達しない 【努力を要する生徒へ】 ・必ず提出させ、内容が不足する場合、説明し再度提出させる。
度) (知識・技能)	(Aの水準に加えて) 主体的かつ意欲的にグループ内で協働し、内容についてわかりやすく説明することができる。	(Bの水準に加えて) 【重要項目】4問をすべて正解し、地業工事について深く理解できる。	【重要項目】3問正解し、地業工事のそれぞれの工法、特徴を理解することができる。	【重要項目】2問正解し、地業工事の基礎を理解することができる。	B-に達しない 【努力を要する生徒へ】 ・ワークシートの見直しをさせる。 ・理解して欲しい内容について補習を行う。 ・再度ワークシートの実施。